

## ロ・マン 24in まっだい 24 時間耐久リレーマラソンにおける 熊被害防止について

2026.06.30

ロ・マン 24 実行委員会

近年、全国的に熊の出没件数の増加や人身被害が相次いで報告されており、本大会も熊との遭遇する可能性をゼロにすることができません。今回、参加する皆様および運営スタッフが、安全にご参加や運営が出来るように、熊被害防止の文書を作成しました。安全に大会を行うために、実行委員会で行う被害防止対策と、皆様からご協力いただきたい対策が書いてありますのでご一読いただき、安全第一で開催できるようにご理解とご協力をお願いいたします。

### ◎実行委員会で行う熊被害防止対策について

- ・大会開催前、開催当日に、爆竹などを使用した熊の追い出しを行います。
- ・観察所（チェックポイント）などに、熊避けスプレーを配置します。
- ・競技に支障がない範囲で、獣が嫌う線香などを炊きます。

### ◎参加者とチームにお願いする被害防止対策について

- ・熊との遭遇を防ぐため、熊鈴やカウベルなどの携帯を推奨します  
→熊は本来人間を積極的に襲う動物でなく、多くは至近距離で突然人と出会い、熊が驚いて起こるとされています。熊に対して人の存在を知らせることが最も重要な対策です。
- ・食べ物や甘い香りがするものを持って走らない  
→熊の嗅覚は鋭く、人間にはわからない匂いにも反応します。食べ物以外にも、日焼け止めや制汗スプレー、整髪料、香水、柔軟剤など、人工的な香料で甘い香りがするものに熊が興味を示すとされていることから、競技中は可能な限り無香料ものを使用することを推奨します。

- ・ヘッドホンやイヤホンをつけての走行は危険です

→熊の接近時に危険察知ができません。前述のとおり、熊との人身被害は出会い頭の遭遇が最も危険であるとされています。また、主催者が危険と判断してレースを中止した場合に気づけない恐れがあります。

## ◎万が一熊と遭遇したとき

- ・命を守る行動をとる

→両手で顔や首をガードするようにして地面に伏せ、頭部や腹部を守ります。熊に対する危険が去ったのちに、周囲へ助けを求めるようにしてください。

- ・騒がずにゆっくり距離を取る

→熊を刺激しないように、視線を切らないようにゆっくりと後ろへ後退し距離を取ります。これは、熊に背中を見せて逃げた場合、追いかけてくる恐れがあるためです。

- ・後続の選手に知らせる

→声を出す時が危険な場合は、両手で後続選手の進行を制止するなどして、熊がいることを知らせて止めてください。

## ◎熊の目撃や人身被害が発生したときの対応

今現在、松代地域において熊の人身被害は発生しておりません。しかし、今後、人身被害の発生や、競技コースへ頻繁に出没し、参加者や運営スタッフの安全確保が困難であると実行委員会で判断したときは、大会当日であっても開催を中止とします。皆様の安全を最優先に実施いたしますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。